

公認会計士が出前講座

小学生に仕事紹介 協会山梨県会

日本公認会計士協会東京
山梨県会(田中佑幸会長)
は11日、駿台甲府小(甲府市

上今井町)で、5年生の児童
73人を対象に、公認会計士
の仕事学ぶ出前講座を開

いた。

東京会に所
属する公認会
計士7人が訪

児童が公認会計士の仕事を体験する

れ、仕事内容
や株式会社
の仕組みなど
について説明
。その後、児童
たちは、わた
ちが製造販売
する会社の
監査を体験し

た。公認会計士のサポートを受けながら、損益計算書の売上高や経費、利益などについて、電卓を使いながら確認。「社長の子どものゲーム代金は経費には入らない」など間違いを鋭く指摘した。「公認会計士の仕事は面白いと思った」「間違いを見つげられて良かった」などと感想を笑顔で話していた。

東京会は1都6県で構成され、小中学校を対象に毎年25〜30回の出前講座を開いている。本県で開かれるのは初めて。田中会長は「公認会計士の仕事はあまり知られていないが、これをきっかけに興味を持ってほしい」と話している。

